

単元名 私の生活、大発見！

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解するとともに、家族の仕事を分担・実行することができる。
- (2) 家庭の仕事について課題を見付け、それらを解決するために、家庭の仕事の計画を考え、工夫することができる。
- (3) 家庭には、自分や家族の生活を支える仕事があることを知り、様々な課題をもって家族の一員として家族に協力しようとする。

標準的な展開例

05090102_001

【準備等】茶葉、計量カップ、計量スプーン、やかん、きゅうす、湯飲み、茶托、家庭の仕事実行表

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 自分と家族の生活を見つめ、家族との関わりについて考え、学習課題をつかむ。</p> <p>★家庭にある仕事を見付けよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「りんさんの1日の生活の例」を参考にして、自分の1日の生活を振り返る。 ○これまでに家族にしてもらっていること、また、自分がして喜ばれたことを思い出して話し合う。 ○家庭にはどんな仕事があるのか考え、気付いたことを発表する。 <p>2～3 自分にできそうな家庭の仕事を見付ける。</p> <p>★家庭で使う用具を知り、その用具を使って実践してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭科室の調理用具探しゲームを行う。 ○家庭科室の正しい使い方や、安全面の注意点について話し合う。 ○ガスコンロの正しい使い方を知り、お茶をいれる。 ○お茶のいれ方の実習を振り返る。 <p>4 家族の一員として自分にできる仕事を見付ける。</p> <p>★「家族のために働こう」の計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分にできる仕事について話し合う。 ○お仕事実行表を作る。 ○計画をグループで発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を家庭の仕事や団らんなど家族との関わりの面から振り返らせ、課題に気付くようにする。 ・家庭生活に目を向けさせることで、これまで生活してきた家庭がもっている機能に気付くようにする。 ・p.13「活動1 話し合おう」を活用する。その際、地域の人とつながった仕事があることを押さえる。 ・家族が協力して家庭の仕事を担い、支え合っていることを確認する。 【評】家庭の仕事を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・「量る」「加熱する」「洗う」「切る」「混ぜる・盛りつける」「ごみを始末する」道具を、グループで協力して一つずつ集めさせ、様々な用途の道具があることを全体で確認する。 ・p.14、15の調理用具の写真を参考にして、調理室にあるものを、一人一人が見付けるようにする。 ・話し合わせる中で、整理整頓や衛生面への配慮について気付くようにする。 ・ガスコンロの使い方については、一人一人に扱わせ、器具の安全な扱い方を確認する。 ・ガスコンロの使い方が分かりにくい児童は、p.17の二次元コードを読み込み、「ガスコンロの使い方」で確認するように伝える。 ・日本のお茶は伝統的な飲み物であることを押さえる。 ・グループで協力してお茶をいれ、片付けさせることで、協調性が身に付くようにする。 【評】調理用具の扱い方やお茶のいれ方の活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・安全面や衛生面で気を付けたことや、今後の家庭実践で気を付けたいことを確認する。 ・事前にどんなことをしてほしいか、家族にインタビューさせておくことよい。 ・家族がしてほしい仕事を実践させる。また、今までやってこなかった仕事にもチャレンジさせることで、仕事の幅が広がるようにする。 【評】お仕事実行表を作る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・友達のを参考にし、さらによい実行表になるようにする。 ・お仕事実行表を教室に掲示し、交流できるようにするのよい。 【評】実践記録を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】